

令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立立川第二中学校

2. 令和6年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none">一学年は「地域（立川市）」、二学年は「勤労・福祉」、三学年は「平和学習、避難所運営」などについて取組み、立川市の現状について知り、深めることができた。職場体験や福祉学習体験を通して地域と関わることができた。立川市民科公開講座（9月実施）では、数多くの市内の講師による講座を設け、立川の魅力を感じ、関心を高めることができた。
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none">立川市民科の学びから、主体的な地域貢献につなげたい。地域人材や地域資源の有効活用をより計画的に行う。立川市民科の取組について、保護者への浸透を目的に適宜周知する。

3. 令和6年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
31.8%	51.5%	7.0%	1.5%	8.2%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
20.4%	42.3%	3.0%	0.7%	33.6%